

福祉臨床学科紀要 第9号の発刊にあたって

福祉臨床学科は、学科開設以来毎年度紀要を発刊し、本年度は9号を数えることができました。社会のニーズに応じて、学科のコース改編を行い充実した福祉教育にむけて、先生方と力を合わせて参りました。

学生は、毎年、就職率ほぼ100%近くという希望に沿った就職先を見出し、巣立っております。

国家試験のハードルは、依然高いものがありますが、受験体制・学科のセミナー・指導体制も整備しつつあります。保育士を希望する学生は、保育所・施設等への就職に成果をあげてきております。新たなコースでスポーツを介して福祉的に関わろうとする学生にも活動の場が広がりつつあります。学生の地域福祉活動の活性化は、実践的教育により影響を及ぼしていると実感しております。

2011年度も例年通り、学生にとって福祉臨床学科での学びが活かされることを願って、日々教育・研究に取り組んでいる教員が研究成果をまとめました。ここにお届けいたします。

また、4年生の卒業論文一覧を合わせて掲載し、学生にとっての学びの軌跡もお伝えいたします。

どうぞ、本紀要をご一読いただきまして、忌憚のないご意見をいただければ幸いに存じます。

2012年3月吉日

福祉臨床学科長 菊池信子